

平成 25 年度
港湾空港局予算要求方針

【目次】

- 1 平成 25 年度港湾空港局予算要求総括表及び経営方針・・・ 1
- 2 重点的に取り組みを行う主なもの・・・・・・・・ 5
- 3 事務事業の見直し等（主なもの）・・・・・・・・ 10

1 平成 25 年度港湾空港局予算要求総括表及び経営方針

(1) 平成 25 年度港湾空港局予算要求総括表

【一般会計】

平成 25 年度要求総額 5, 426, 255 千円
 (平成 24 年度予算額 6, 167, 338 千円)
 前年度比 ▲12.0%

《主な事業》

(単位：千円)

事業名	平成 25 年度 予算要求額 A	平成 24 年度 予算額 B	増 減 A - B
北九州空港航空貨物拠点化事業	131,839	128,495	3,344
北九州空港路線誘致事業	166,608	165,897	711
北九州空港アクセス推進事業	190,000	196,000	▲6,000
(チャレンジ枠) 対アジア国際路線強化事業	38,600	0	38,600
(チャレンジ枠) 北九州市物流拠点化チャレンジ事業	40,000	0	40,000
魅力ある海辺づくりの推進	7,600	10,300	▲2,700
モーダルシフト推進補助事業	10,000	10,000	0
国際 RORO 航路誘致事業	8,000	20,000	▲12,000
(新) グリーン成長産業立地促進事業	17,850	0	17,850
港湾施設保安対策事業	235,477	212,974	22,503

《主な事業》

(単位：千円)

事業名	平成 25 年度 予算要求額 (A)	平成 24 年度 予算額 (B)	増 減 (A - B)
国直轄事業負担金	1,751,000	1,422,000	329,000
北九州港海岸防災 推進事業	10,000	10,000	0
響灘東地区処分場 整備事業	78,533	50,000	28,533
奥洞海航路浚渫事 業	156,000	729,000	▲573,000
(新)旧大連航路上 屋オープニング事業	32,695	0	32,695

【港湾整備特別会計】

平成25年度要求総額 11,240,000千円
 (平成24年度予算額 12,708,000千円)
 前年度比 ▲11.6%

《主な事業》

(単位：千円)

事業名	平成25年度 予算要求額 (A)	平成24年度 予算額 (B)	増 減 (A-B)
北九州港利用促進 補助事業	87,400	55,400	32,000
新門司埋立地造成 事業	182,460	133,600	48,860
響灘東埋立地整備 事業	237,000	268,000	▲31,000
(新) 港湾機能高 度化事業	228,000	0	228,000
太刀浦地区クレー ン更新事業	414,600 債務負担行為 (1,010,000)	16,500	398,100
太刀浦埠頭用地 整備事業	144,500	103,000	41,500
公債償還に係る経費	8,198,853	10,378,070	▲2,179,217

【空港関連用地整備特別会計】

平成25年度要求総額 5,500千円
 (平成24年度予算額 6,000千円)
 前年度比 ▲8.3%

【臨海部産業用地貸付特別会計】

平成25年度要求総額 401,757千円
 (平成24年度予算額 916,100千円)
 前年度比 ▲56.1%

(2) 平成 25 年度港湾空港局経営方針

港湾空港局は、「北九州港」と「北九州空港」という二つの「みなと」を最大限に活用し、「元気発進！北九州」プランの推進を図るとともに、「緑の成長戦略で、人にやさしく元気なまちづくり！」の実現に取り組んでいきます。

平成 25 年度は、以下の 3 つの柱を基にして、各事業に取り組めます。

①北九州港 ～ 長期構想「アジア・グリーンポート構想」と「日本海側拠点港」の推進

北九州港の将来の方向性を示した「アジア・グリーンポート構想」と、平成 23 年 11 月に選定された「日本海側拠点港」を推進するため、本市の最大の強みである「環境力」と充実した物流基盤が支える「港湾力」により、アジアの国際拠点港湾を目指していきます。

②北九州空港 ～ 利用促進・集客対策と航空貨物拠点化の推進

釜山線の新たな利用者の掘り起こし等、より一層の集客活動を行うとともに、東京線、釜山線に次ぐ新規路線の開拓を行います。また、空港アクセスの利便性を向上させ、空港の利用促進を図るとともに、貨物拠点化へ向け、航空貨物の更なる実績づくりを行います。

③港湾整備特別会計 ～ 経営健全化の着実な推進

港湾施設と一体となった埋立分譲地の造成やターミナルの整備等は、「港湾整備特別会計」を設置し、造成等に要した市債を分譲地売却や施設使用の収入で償還してきました。

しかし、埋立分譲地の売却不振や地価下落等により、特別会計の独立採算を維持することが困難な状態となってきました。

そこで、平成 22 年 7 月にとりまとめた「経営健全化策」を着実に推進していきます。

2 重点的に取り組みを行う主なもの

(単位:千円)

1 北九州港 ～ 長期構想「アジア・グリーンポート構想」と「日本海側拠点港」の推進

「長期構想」に掲げる2つの理念のもと、将来の北九州港が果たすべき役割をイメージした4つの将来像の実現に向けて、事業に取り組みます。

(理 念)

- ・ ものづくりを支え、まちを元気にする。
- ・ 人と地球にやさしく、世界の環境首都を支える。

(将来像)

- ・ ものづくり産業を支える物流基盤としての港
- ・ 災害に強く、いつも安全で、市民生活や企業活動を支える港
- ・ 環境首都（環境モデル都市）にふさわしい港
- ・ 多くの人が憩い、賑わう港

(将来像1) ものづくり産業を支える物流基盤としての港

近年、高い経済成長を続けるアジア諸国は、生産拠点の拡大や巨大市場としての存在感を増しており、その成長を取り込むことが、本市のみならず、日本経済にとって重要となっています。

そこで、北九州港は、アジアに向き合う最前線の港湾として、「船舶の大型化への対応」、「アジアとのシームレス物流の実現」、「アジア向け産業の集積促進に向けた魅力ある立地環境の形成」等に取り組みます。

(V-2・新規)北九州市物流拠点化チャレンジ事業 40,000
(チャレンジ枠)

本市は、新成長戦略に位置づけられている「充実した物流基盤を活用した物流振興」を「創貨」と「集貨」の相互作用によって達成する複合型物流拠点都市の実現に取り組んでいます。そこで、「創貨」と「集貨」を一体ととらえた事業を創設します。

(V-2・継続)国際 RORO 航路誘致事業 8,000

アジアのゲートウェイづくりや企業ニーズの高いシームレス輸送を実現するため、国際競争力を支える輸送モードとして必要な国際 RORO 船の航路誘致に取り組みます。

(Ⅳ-1・新規) グリーン成長産業立地促進事業 17,850

これまで注力してきた環境・エネルギー産業の誘致と合わせて、響灘地区に本市のエネルギー政策を進める上で必要となる、基幹エネルギー(高効率火力)や再生可能エネルギー(風力、バイオマス等)施設の立地を目指します。

(Ⅴ-2・拡充) 北九州港利用促進補助事業 87,400(うち拡充分 32,000)

北九州港の利用促進を図るため、航路誘致、集貨・創貨の促進にかかる助成を行います。

(Ⅴ-2・継続) 奥洞海航路浚渫事業 156,000

奥洞海地区において、航路の航行環境の改善や船舶の大型化に対応するため、航路の浚渫を行い、国際競争力強化を図ります。

(Ⅴ-3・新規) 港湾機能高度化事業 228,000

太刀浦コンテナターミナルのエプロン舗装の改良を行い、コンテナの蔵置能力を高め、増加貨物への対応、港の競争力の強化につなげます。

(Ⅴ-3・継続) 太刀浦地区クレーン更新事業

414,600(債務負担行為 1,010,000)

太刀浦コンテナターミナルのガントリークレーンについて、船舶の大型化や荷役作業の高速化に対応できるように更新を行います。

(Ⅴ-3・拡充) 太刀浦埠頭用地整備事業 144,500(うち拡充分 41,500)

太刀浦コンテナターミナルのヤード舗装の轍や破損箇所について、平成 23 年度から 3 ヶ年計画で整備を実施し、荷役作業の安全性の確保と効率の向上を図ります。

(Ⅴ-3・継続) 公共上屋長期維持保全工事事業 172,040

平成 23 年度から着手した事業で、公共上屋の長寿命化のため、維持補修を計画的・効率的に行います。

(Ⅴ-2・継続) 地域自主戦略交付金事業(港湾) 591,450

(Ⅴ-2・継続) 社会資本整備総合交付金事業(港湾) 25,000

岸壁や道路など、老朽化した港湾施設について、適切な改良を加え、有効活用を図るために整備を行います。また、市民が気軽に港や海辺を楽しめる緑地の整備を新門司や響灘東地区で行います。

(V-2・継続) 新門司埋立地造成事業	182,460
(V-2・継続) 響灘西埋立地整備事業	115,400
(V-2・継続) 響灘東埋立地整備事業	237,000

新門司地区及び響灘地区において、企業立地に必要な造成やインフラ整備を行います。

(V-2・継続) 国直轄事業負担金	1,751,000
-------------------	-----------

国が行う新門司地区の航路・泊地・岸壁、田野浦地区の岸壁の整備について、地元負担を行います。

(将来像2) 災害に強く、いつも安全で、 市民生活や企業活動を支える港

大規模災害やテロ等から地域を守り、安全・安心で質の高い市民生活の構築や安定した企業活動の実現等に貢献する港づくりを目指します。

(II-1・継続) 北九州港海岸防災推進事業	10,000
------------------------	--------

東日本大震災を踏まえ、海岸部の強固な防災対策が必要とされています。そこで、平成25年度は、海岸保全施設等の基礎調査や北九州港海岸防災対策案の作成に取り組みます。

(II-1・拡充) 海岸(高潮)事業 245,100	(うち拡充分 122,100)
----------------------------	-----------------

災害に強い都市づくりの一環として、臨海部における高潮等の災害から市民の生命や財産を守るために、新門司及び白野江地区で護岸整備を行います。

(V-3・継続) 港湾施設保安対策事業	235,477
---------------------	---------

改正海上安全条約(SOLAS条約)に基づき、船舶を利用した国際テロの発生を防止するため、外国貿易に利用される港湾施設の保安対策を実施します。

(将来像3) 環境首都(環境モデル都市)にふさわしい港

深刻化する地球環境問題に積極的に取り組む先進都市港湾として、陸域、海域からなる広大な港湾空間を積極的に活用して、資源循環型社会の形成、低炭素社会の実現、自然環境の保全・再生などを行い、本市が掲げる世界の環境首都にふさわしい港づくりを目指します。

(VI-2・継続) モーダルシフト推進補助事業 **10,000**

北九州港の利用とモーダルシフト（CO2 削減効果が高い輸送方法へのシフト）を促進するため、船社・荷主企業等を対象に補助金を交付します。

(VI-1・継続) 市民参加による洞海湾の環境修復検討事業 **1,800**

本市の環境改善のシンボル洞海湾で、ムラサキイガイを用いた市民参加による環境修復事業（マイロープ・マイ堆肥）を小学校や NPO 団体と実施します。

(VI-3・継続) 響灘東地区処分場整備事業 **78,533**

しゅんせつ土砂や廃棄物を最終的に処理する処分場の整備のため、基礎資料の作成や環境アセスメント調査を行います。

(VI-2・継続) LED 照明等導入事業 **8,470**

北九州グリーンフロンティアプランの一環として、若松エコタウンで、LED 照明灯の導入を推進します。

(将来像 4) 多くの人が憩い、賑わう港

平成 23 年 6 月に策定した「新・海辺のマスタープラン」では、「利用できる海辺を増やす」、「海辺の親しまれる度合いを高める」という 2 つの目標を掲げ、市民が気軽に海辺を親しめる事業に取り組みます。

(Ⅲ-1・新規) 旧大連航路上屋オープニング事業 **32,695**

門司港レトロ地区の近代遺産として歴史的価値の高い旧大連航路上屋が、平成 25 年夏に供用開始予定です。そのオープニング事業として様々な企画を実施します。

(Ⅲ-1・継続) 魅力ある海辺づくりの推進 **7,600**

「新・海辺のマスタープラン」の目指す、「魅力ある海辺づくり」の一つとして、砂浜での遊び方を提案する「ビーチレクリエーション事業」を行います。

2 北九州空港 ～ 利用促進・集客対策と航空貨物拠点化の推進

(V-2・継続) 北九州空港航空貨物拠点化事業 131,839

航空貨物拠点化に向けて、滑走路延伸を見据えた実績づくりに力を入れています。そのため、福岡県、苅田町と共同で、航空貨物の定期便の維持や誘致を行い、集貨促進を図ります。

(V-2・継続) 北九州空港利用促進・集客対策事業 40,778

北九州空港の国内・国際路線の定着を図り、更なる路線ネットワークの充実を目指して、PR・集客活動及び路線誘致活動を実施します。

(V-2・継続) 北九州空港路線誘致事業 166,608

北九州空港に、新規の国際・国内定期便を誘致するために、チャーター便助成や新規路線の定着を図るための事業を実施します。

(V-2・新規) 対アジア国際路線強化学業 38,600

(チャレンジ枠)

新成長戦略の目標の一つである「北九州の強みを活かし、アジアなどのグローバル需要を取り込む海外ビジネス拠点の形成」を目指して、市内及び周辺企業のビジネス支援などを視野に置いたマーケット開拓のためのチャーター便を実施します。また、新成長戦略における「国内外からの集客及び関連産業の振興」を図るため、北九州空港を利用して消費単価の高い海外からの観光客の誘致を推進するものです。

(V-2・継続) 北九州空港アクセス推進事業 190,000

北九州空港へのアクセスの利便性の向上のため、エアポートバスや乗合タクシーの運行補助を行います。

3 市民、企業、NPO 等との協働した事業展開

CO2 削減のために、企業と協働して、北九州港を利用した輸送手段の転換等を実施します。また、NPO との協力で環境修復に取り組みます。

(VI-2・継続) モーダルシフト推進補助事業(再掲) 10,000

(IV-1・継続) 市民参加による洞海湾の環境修復検討事業(再掲) 1,800

3 事務事業の見直し等(主なもの)

(1) 行政評価による見直し

○ 海岸(高潮)事業

台風時の高潮などによる災害から市民生活や企業活動を守るため、新門司北地区で護岸整備を行っています。

災害対策の高まりを受けて、平成25年度は、新たに、新門司北地区北護岸、白野江地区護岸の整備に着手します。

(2) その他の見直し

○ 港湾施設に係る管理経費の見直し

港湾施設の管理に係る経費について、財源の増収に努めるとともに、対象を集中・選択的に見直しを行うことで、一般財源の削減を図ります。